

第1回上下水道事業審議会 議事概要

1 日時及び場所

平成28年3月1日(火) 午前9:30~11:40

知立市中央公民館 2階 第1・2展示室

2 出席者及び欠席者

(1) 出席者(10名)

(2) 欠席者 なし

(3) 事務局(10名)

市長、上下水道部長、水道課長、下水道課長、水道課職員、下水道課職員

3 議題及び内容

1 市長あいさつ

2 委員紹介

3 会長の選出

4 議題

(1) 経営戦略策定における知立浄水場の存廃及び将来の料金水準について

イ 水道のしくみについて

ロ 水道事業及び経営戦略の概要について

(2) 下水道使用料の改定について

イ 下水道事業の概要について

ロ 下水道事業が抱える課題について

5 その他

今後のスケジュール及び報酬の支払いについて

4 議事概要

議題(1) 経営戦略策定における知立浄水場の存廃及び将来の料金水準について

イ 水道のしくみについて水道課長よりちりゅうの水道にて説明

ロ 水道事業及び経営戦略の概要について料金係担当より知立市水道ビジョン及び水道資料にて説明

説明後、質疑応答

議題(2) 下水道使用料の改定について

イ 下水道事業の概要について下水道課長より資料にて説明

ロ 下水道事業が抱える課題について下水庶務係担当より資料にて説明

説明後、質疑応答

5 主な意見、質疑応答

議題（１）経営戦略策定における知立浄水場の存廃及び将来の料金水準について

委員

西町配水場と八橋配水場の配水量が市内の 80%を占めているが、20%を占めている知立浄水場が廃止された場合、両配水場で 100%配水することは可能か。

事務局

知立浄水場の 20%分は県から購入可能であるため廃止しても問題ない。

委員

全国的な問題で人口減少が進む地域が多いなか、不足する財源についてどのような対策事例があるか。

事務局

対策事例として、市町村合併のように他市との広域化に取り組み、浄水場などの施設を統廃合するなかで、施設の縮小化や事務の簡略化などを図り、コスト削減を図る事例がある。

会長

知立浄水場での処理水と県から購入した水の単価が m^3 当たりでわかれば、参考までに教えてほしい。

事務局

すぐに資料が出ないため、今後の審議を通して説明する。

議題（２）下水道使用料の改定について

委員

他の市町村に比べて普及率が低い理由は何か。

事務局

予算の面で制約を受けて整備が遅れた。

委員

維持管理費を使用料で賄っているのか。

事務局

使用料で維持管理費と利子償還を賄っている。

委員

使用料は 20 年ほど値上げしていないが、他に当初から一度も値上げしていない自治体があるのか。

事務局

積極的に下水道使用料を値上げする自治体はあまりない。近隣市では刈谷市が平成 26 年、東郷町が平成 27 年に改定したのが共に初めてであった。しかし、事業開始から 30～40 年以上経過している市町が多く、老朽化した施設の更新も必要となってくるため、経営基盤の強化という点で他の市町も使用料改定を検討しているという状況である。